

地引き網体験 指導者用資料

海の危険な生物

地引き網体験の際に、触ると危険な生物が網にかかることがあります。引率者は体験者が勝手な行動をして危険にさらされないよう、事前に危険な生物がいることを伝えてください。網元が「いいよ」というまで網に触らなければ安全です。スライドを活用してください。

以下、地引き網の際に網にかかりそうな危険生物の例です。安全に楽しく活動できるよう、ご活用ください。



【オコゼ】

刺されると、とにかく痛いです。刺された場所は腫れ上がり、紫色に変色し、その部分が壊死を起こす事があります。また、あまりの激痛に意識障害を起こし、重篤の場合は呼吸困難、痙攣、最悪の場合は死亡するケースがあります。

●**応急処置** 傷口から毒をしぼり出して、よく洗います。棘が刺さっている場合はしっかり抜きます。酢か海水。



【エイ】

尾は細長くしなやかな鞭状で、背面に棘が列を成して並びます。長い棘には毒腺があり、刺されると激痛に襲われます。

●**応急処置** 真水で傷口を洗い、毒液をしぼり出します。できれば暖かいお湯。エイの毒はタンパク系の毒で、熱で分解されます。



【赤クラゲ】

傘から下に伸びる触手に刺胞を持っています。この刺胞に触れると火傷に似た痛みが走り、みみず腫れや水腫れなどの症状が起こり、ショックから呼吸困難になることもあります。クラゲの死後も刺胞は生きているため、打ち上げられたものなどでも注意が必要です。

●**応急処置** 付着した触手をこすらずに、タオルなどでつまむようにして取り除きます。酢やアルコール、アンモニア水などは毒素を中和するため、症状を和らげるのに有効です。



【アンドンクラゲ】

アンドンクラゲは日本各地に分布し、刺されるとミミズ腫れや湿疹を生じます。

●**応急処置** 刺胞を肌にすりこまないように、こすらず、海水で洗い流します。できれば、アルコールかアンモニア水で患部を消毒します。クラゲの毒は、熱に弱いので、乾いた熱い砂をかけてから海水で洗い流すのもよいでしょう。いずれにしても、洗い流すときに、真水は禁物です。